

⑰野瀬笠松駅線

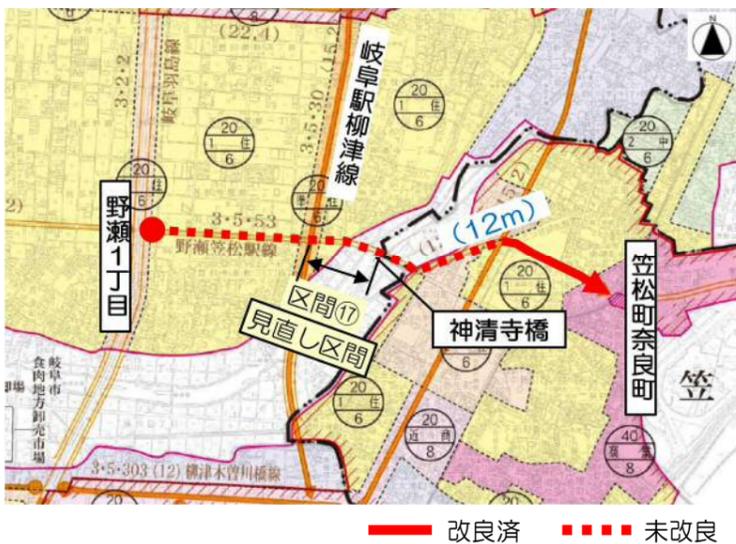
路線の概要

現在の計画

- 野瀬笠松駅線は、昭和42年の岐阜市内の都市計画道路網の見直しを機に、西側で連続する茜部南鶉線と共に南部市街地の東西方向の幹線街路として決定されました。
- その後、延長や幅員等が変更され、現在は野瀬1丁目～笠松町奈良町を起終点とし、計画延長1,660m(うち岐阜市域740m)、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

整備状況

- 【野瀬1丁目～岐阜駅柳津線交差部付近】
 - 未改良で現道があります。
- 【岐阜駅柳津線交差部付近～神清寺橋】
 - 未改良で現道があります。



見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

- 南部市街地と笠松町を結ぶ東西方向の補助幹線街路として、地域内の幹線道路を連絡する機能が求められています。

見直しの理由 変更

歩道機能の変化

- 2車線両側歩道で計画されていますが、区間の大部分が市街化調整区域で、沿道への住宅や施設等の立地の拡大は見込めないため、**現道の幅員2.5mの片側歩道でも対応可能**と考えられます。
- 区間東側の神清寺橋及び東に隣接する笠松町内の区間は既に片側歩道で整備されているため、**道路の連続性を考慮すると、当区間も片側歩道で十分**だと考えられます。

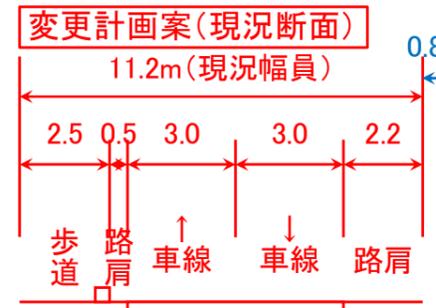
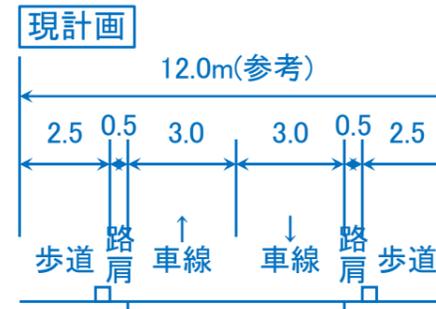
道路の暫定整備

- 当区間は1車線で歩道のない状態でしたが、**近年2車線片側歩道で暫定整備**が行われており、**現道が有効活用**できると考えられます。

既存ストックの有効活用

- 区間東側の神清寺橋が既に**2車線片側歩道で整備**されており、**既設橋が有効活用**できると考えられます。

道路断面図(参考)



●神清寺橋は片側歩道で整備済みです。



●神清寺橋の西側も片側歩道で整備されています。

都市計画変更(案)の内容

【3・5・53 野瀬笠松駅線】

- 岐阜駅柳津線との交差部から神清寺橋までの延長約220mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の11.2m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)L=220m」と考えます。

都市計画変更(案)平面図



現地の状況写真

